

令和8年1月
関西広域連合議会
第48回総務常任委員会会議録

令和8年1月関西広域連合議会第48回総務常任委員会会議録 目次

令和8年1月9日

1	開催日時・場所	1
2	議 題	1
3	出席委員	1
4	事務局出席職員職氏名	1
5	説明のため出席した者の職氏名	2
6	会 議 概 要	3

1 開催日時・場所

開 会 日 令和8年1月9日（金）

開催場所 中之島センタービル 2階 NCB会館 淀の間

開会時間 午後1時27分開会

閉会時間 午後2時53分閉会

2 議 題

(1) 調査事件

① 令和8年度主要事業（案）について

② 第6期広域計画（案）及び第3期関西創生戦略（案）について

(2) 報告事項

第184回関西広域連合委員会について

3 出席委員 (40名)

1番 井 狩 辰 也	21番 齊 藤 なおひろ
2番 本 田 秀 樹	22番 戸井田 ゆうすけ
3番 田 中 松太郎	23番 村 岡 真夕子
4番 奥 村 芳 正	24番 伊 藤 勝 正
5番 上 倉 淑 敬	25番 藤 田 孝 夫
6番 小鍛治 義 広	26番 住 本 かずのり
7番 田 中 健 志	27番 よこはた 和 幸
8番 渡 辺 邦 子	28番 松 木 秀一郎
9番 宇佐美 賢 一	29番 関 本 真 樹
10番 棕 田 隆 知	30番 芦 高 清 友
11番 須 田 旭	31番 小 村 尚 己
12番 大 橋 章 夫	32番 中 尾 友 紀
13番 富 田 武 彦	33番 山 家 敏 宏
14番 中 野 稔 子	34番 玄 素 彰 人
15番 鈴 木 憲	35番 新 島 雄
16番 塩 中 一 成	36番 鳥 羽 喜 一
17番 岸 本 栄	37番 広 谷 直 樹
18番 原 口 悠 介	38番 北 島 一 人
19番 的 場 慎 一	39番 福 山 博 史
20番 大 林 健 二	40番 原 徹 臣

4 事務局出席職員職氏名

議会事務局長

蓮 池 忍

議会事務局次長兼議事調査課長

久 野 明 志

5 説明のため出席した者の職氏名

本部事務局長	土 井 典
本部事務局参与（連携担当）	森 健 夫
本部事務局次長	松 浦 幸 浩
本部事務局次長	西 島 由 美
本部事務局総務課長	沖 有 希子
本部事務局企画課長	茂 籠 秀 敏
本部事務局連携推進課長	島 田 敬 祐
本部事務局資格試験・免許課長	鎌 田 治 男
本部事務局計画課長	東 山 俊 也
本部事務局地方分権課長	鶴 嶋 保 明
広域防災局長	池 田 頼 昭
広域観光・文化・スポーツ振興局長	野 口 礼 子
広域観光・文化・スポーツ振興局次長（文化担当）	梅 原 和 久
広域観光・文化・スポーツ振興局観光課長付参事（鳥取県）	中 尾 和 直
広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部長	小 倉 陽 子
広域産業振興局長	片伯部 真 由
広域産業振興局農林水産部次長	川 村 実
広域医療局次長	新 田 哲 弘
広域環境保全局長	目 片 佳 子
広域職員研修局長	栗 田 晃 治
特区担当課長（特区総括担当）	田 中 太 郎
エネルギー検討会企画参事（広域エネルギー調整担当）	田 淵 敬 一
プラスチック対策検討会企画参事（広域プラスチック対策担当）	橋 田 学
広域行財政改革推進担当企画参事（広域行財政改革推進担当）	川 上 孝 範

6 会議概要

午後1時27分開会

○委員長（福山博史） 　少し早いですが、お揃いになりましたので、これより、関西広域連合議会総務常任委員会を開催します。

本日、芦高委員は遅れて参加されます。

なお、理事者側の出席者については、お手元に名簿を配付していますので、御覧おき願います。

それでは、議事に入ります。

本日の調査事件は、「令和8年度主要事業（案）」及び「第6期広域計画（案）」及び第3期関西創生戦略（案）」の2件です。

報告事項は、「第184回関西広域連合委員会」の1件です。

本日の委員会全体の終了時刻は、15時30分を目途といたしますので、よろしくお願いたします。

なお、発言の際は、お手元のマイクのスイッチを入れていただき、発言が終わりましたら、マイクのスイッチを切っていただきますようお願いいたします。

それでは、初めに三日月広域連合長から御挨拶をいただきます。

三日月広域連合長。

○広域連合長（三日月大造） 　議員の先生方、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。それでは、座って御挨拶申し上げます。

関西広域連合議会総務常任委員会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

関西広域連合は設立から16年目を迎えました。人間に例えるなら、16歳はどこへ向かうのかと悩みながらも、大人への一步を踏み出す大切な時期です。悩みは成長の証でもあり、悩むからこそ進化があります。アフター万博では、「観光、国の光を観る」と「ジェンダー平等」に力を入れて取り組み、次なるステージへ向け挑戦してまいります。とはいえ、そんなに悩んでいるわけではないんですけれども、前向きに悩みながら進んでいきたいと思っております。

さて、今年は来月にミラノ・コルティナ2026冬季五輪が開催されるオリンピックイヤーであるとともに、3月には3年ぶりとなりますワールドベースボールクラシックが、そして6月にはFIFAワールドカップが北中米を舞台に開催されるなど、世界的に大きなスポーツイベントが予定されています。

そして、いよいよ来年5月にはワールドマスターズゲームズ2027関西が2府7県を舞台に開催されます。12月15日の決起大会及び記念シンポジウムには、私も参加させていただきました。3月からは参加者のエントリーが始まる予定です。ワールドマスターズゲームズは、スポーツを通じた健康長寿社会の実現や、関連産業の一層の振興等を目指す生涯スポーツの国際大会であり、世界中から多くの方が参加されます。スポーツツーリズムの観点からインバウンド観光の広がりにも期待するところであり、関西文化の魅力の発信等を通じて、関西の更なる活力向上に取り組んでまいります。

さて、高病原性鳥インフルエンザが、昨年12月には鳥取県米子市、兵庫県姫路市、京都府亀岡市の養鶏場において、また今月8日には、再び兵庫県姫路市の養鶏場において発生したことから、関西広域連合では速やかに特定家畜伝染病警戒本部会議を開催して、対応

に当たりました。引き続き、発生府県において実施する防疫措置等について、構成団体及び連携団体間で密に情報共有を行い、圏域内におけるまん延防止に努めてまいります。

また、今月6日には島根県東部を震源とする地震に伴いまして、鳥取県で震度5強の揺れが観測されたため、関西広域連合では速やかに対策準備室を設置し、警戒・情報収集を行いました。引き続き、広域災害等の発生時には、構成団体と連携し、関西防災・減災プランに基づき、しっかりと対応してまいります。被災された方々にお見舞いを申し上げ、また御対応いただいている職員の皆さんに心を寄せたいと存じます。

それでは、調査事件に先立ち、最近の主な取組を御報告いたします。

第1は、本日の議題ともなっておりますが、次期広域計画及び関西創生戦略の策定についてでございます。

令和8年度からの5年間を計画期間とする第6期広域計画について、広域計画等推進委員会をはじめ、広域連合議会や経済界などから幅広く御意見をいただきながら検討を進めております。また、第3期関西創生戦略につきましても、関西圏域の地方創生を図る観点から、広域計画と計画期間を同じくし、一体的に策定を進めています。

大阪・関西万博のレガシーを継承し、またワールドマスターズゲームズ2027関西の開催を契機といたしまして、関西のポテンシャルを最大限活用することで、新たな価値を創造・発信するとともに、東京一極集中の是正、SDGsの推進、脱炭素社会の実現、大規模災害への備えなどの様々な課題にも積極的に取り組んでいくという考え方の基、広域計画の検討を進めております。

計画案では、3つの目指すべき関西の将来像を示しております。1つ目は、我が国の「もう一つの極」として、新次元の分権型社会を先導する関西。2つ目として、誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西。そして3つ目には、個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西でございます。

これらの将来像を実現するための5つの力として、自治力、防災力、文化力、環境力、そして産業力の向上を掲げます。

国や構成団体、圏域内の市町村、経済界や住民等の多様な主体と連携し、関西の力を総合化する結節点となり、関西における広域行政の責任主体として力強くリーダーシップを発揮してまいります。

本日御意見をお伺いした後、2月定例会に最終案を提出させていただく予定でございます。

第2は、広域自治の推進でございます。

昨年10月に、関西経済連合会、関西観光本部、関西MaaS協議会及び関西広域連合の各構成府県市と共に、「関西広域リージョン連携宣言」を行いました。今後、具体的な取組等について記載する「広域リージョン連携ビジョン」を策定し、様々なプロジェクトを推進することで、さらなる関西の発展につなげてまいります。

また、関西広域連合のあるべき姿や担うべき役割等について、改めて研究し、地方分権や自治力の強化につなげることを目的に設置いたしました「新たな広域自治・行政のあり方研究会」の第2回の会議を2月に開催する予定です。首都圏に対する「もう一つの極」としての関西の役割や、関西広域連合が担うべき事務について議論を進めてまいります。

第3は、関西パビリオンアフター万博の取組です。

関西パビリオンは年末までに建物の解体を終えており、年度末までに敷地を博覧会協会に返却する予定でございます。関西は一つであり、多様であることを国内外にアピールしたこの関西パビリオンは、夢洲の地からは姿を消しましたが、万博と関西パビリオンの記憶を将来に残していくため、記録集の作成を進めており、近々公開を予定しております。また、パビリオン出展の効果検証報告書につきましても、年度内の公表を目指し、現在作業を進めているところです。今後も大阪・関西万博で生み出された成果をレガシーの創出につなげていくため、全力で取り組んでまいります。

本日のこの総務常任委員会では、調査事件として「令和8年度主要事業（案）」並びに「第6期広域計画（案）及び第3期関西創生戦略（案）」について御説明をさせていただきます。議員各位の御指導をよろしくお願い申し上げます、私の御挨拶とさせていただきます。
○委員長（福山博史） ありがとうございます。

議事を進めます。

まず、「令和8年度主要事業（案）」について、理事者から説明願います。

なお、説明者は挙手の上、職名とお名前をおっしゃっていただき、指名を受けた後、着座のまま順次説明願います。

土井本部事務局長。

○本部事務局長（土井 典） 失礼します。本部事務局長、土井でございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「令和8年度主要事業（案）」につきまして、まず私から全体の概略を御説明いたします。失礼して着座にて説明させていただきます。

令和8年度当初予算は、来年度にスタートいたします次期広域計画の方向性も意識しながら、関西の多様な地域資源や強みを生かし、活力を生み出して成長力を高めることで、直面する課題を解決していくということを念頭に予算編成に当たりました。特にアフター万博の予算として、大阪・関西万博のレガシーを継承するという視点から、世界の中で関西の存在感を高めるための取組や、万博で披露されました先端技術の社会実装につながる取組を中心に重点的に配分してございます。

一方で、構成団体の財政は依然厳しい状況が続くと想定されますことから、事業内容の精査はもとより、万博のレガシー継承など、特段の事情あるものを除いては、7年度予算を上限の目途といたしました。

それでは、ここから資料1を用いまして、説明させていただきます。

まず、1ページを御覧ください。

歳入歳出の予算総額は32億4,700万円余でございます。令和7年度当初と比較して5億6,400万円余、率にいたしまして14.8%の減となります。増減の主なものは、大阪・関西万博閉幕に伴いまして、関西パビリオン設置運営費9億7,900万円余の減、及び広域医療費で3億8,100万円余の増でございます。この広域医療費の増額は、ドクターヘリ運航経費の増加によるものでございまして、その要因は、物価高騰の影響等により積算基礎でございます国庫補助金におきまして、運航経費の基準額が引き上げられたことによるものであります。

続いて、2ページを御覧ください。

この横長の表では、予算編成方針で定めましたシーリングの状況を整理しております。

ページの下のほう、表の欄外に①から⑨までシーリング対象外の経費を記載しております。これらを除いた経費につきましては7年度当初予算を上限とする、こうした方針で予算編成に当たっております。上の表を御覧いただきますと、右端から数えまして縦の4列目に太枠で囲みましたシーリング対象を括弧書きで（F-C）負担金（I）と記載している列がございます。こちらに、シーリング対象経費につきまして、令和7年度当初と比較して、差引き額を記載してございます。この列の数字を御覧いただきますと、いずれもマイナスの「▲」、またはゼロのいずれかが入ってございまして、分野事務局、本部事務局ともに、目安の上限の範囲内に収めて予算を組んでおります。

以下、資料の3ページは、施策を体系別に整理した総括表でございまして、その次の4ページから8ページまでは、それぞれ内訳を記載してございまして、適宜御参照いただければと存じます。

9ページ以下には、来年度の取組の概要を記載しております。この後、それぞれ担当の局長等から順に説明を差し上げる予定でございまして。

私からの説明は以上でございまして。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（福山博史） 池田広域防災局長。

○広域防災局長（池田頼昭） 広域防災局長、池田でございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

9ページを御覧ください。

広域防災局長の令和8年度の予算案につきましては、南海トラフ巨大地震などの大規模広域災害対策を推進するため、大規模広域災害を想定した広域対応の推進、防災・減災事業の推進及び防災庁創設の推進の3本柱に基づき、2,231万円を計上させていただいております。

10ページを御覧ください。

2事業の概要です。主な事業について御説明いたします。

（1）大規模広域災害を想定した広域対応の推進についてです。①関西防災・減災プランの推進のうち、ア同プランの見直しです。現在検討を行っております大規模な広域防災拠点の検討結果や、国の防災基本計画などの修正を踏まえ、今年度に引き続き、来年度も地震・津波災害対策編の改訂を行います。

次に、11ページを御覧ください。

③広域応援訓練の実施・官民連携による広域的な災害対応力の強化です。構成団体・民間事業者などの関係機関による大規模広域災害発生時の物資支援に関わる訓練を行うなど災害対応能力の向上を図るほか、最下段に記載のとおり、関西経済連合会とのタスクフォースを通じた官民双方の連携強化を図ってまいります。

飛びまして、13ページをお願いいたします。

（3）防災庁創設の推進について、⑦防災庁地方拠点の設置に向けた啓発活動です。事前防災から復旧・復興まで、一連の災害対策を担う「防災庁」の関西への地方拠点設置の必要性などについて国民的な理解を広めるため、今年度作成をいたします啓発動画を、訓練や展示会場における防災イベント、あるいは主要駅などのデジタルサイネージにおいて放映を行うとともに、セミナーやシンポジウムを開催いたします。

その他の事業につきましては、お手元の資料に記載のとおりでございまして。よろしくお

願ひ申し上げます。

広域防災局からの説明は以上でございます。

○委員長（福山博史） 野口広域観光・文化・スポーツ振興局長。

○広域観光・文化・スポーツ振興局長（野口礼子） 続きまして、広域観光・文化振興分野の説明をさせていただきます。

資料の14ページを御覧ください。

取組の基本方針といたしましては、令和7年3月策定の第3期関西観光・文化振興計画の内容を踏まえ、大阪・関西万博によってもたらされた様々なレガシーを継承し、持続可能な観光の実現と新たな文化やビジネスモデルが創出され続けることを目指し、関西観光・文化振興計画の推進、広域周遊観光の更なる推進、受入環境の整備、万博レガシーを活かしたジオパークの魅力発信・周遊促進、関西文化の魅力発信に取り組むこととしておりまして、令和8年度の当初予算案では、合計で8,544万3,000円を計上したいと考えております。

15ページをお願いいたします。

主な事業について御説明をいたします。

まず、観光分野では、③海外観光プロモーションとして、海外の旅行関係者や要人に対するトップセールス等を実施するほか、④官民連携等による広域観光の推進といたしまして、関西観光本部と協力し、ファミトリップの実施や海外旅行博、商談会等へ出展するほか、2027年に開催されますワールドマスターズゲームズの開催も見据えまして、戦略的なプロモーションを実施したいと考えております。

16ページを御覧ください。

⑤通訳案内士の登録事務や人材育成研修を実施するほか、⑥関西周遊環境の整備では、外国人旅行者へ向けた広域周遊観光情報の発信強化にも取り組んでまいります。

次に、（4）万博レガシーを活かした関西広域連合管内ジオパークを巡る周遊観光促進について、山陰海岸・南紀熊野・三好の3つのジオパークの国内外からの誘客を図るため、情報発信・旅行商品の造成等に取り組めます。

次に、17ページを御覧ください。

文化分野になります。（5）関西文化の魅力発信を御覧ください。文化資源等の魅力発信や歴史文化遺産等をテーマにしたフォーラムの開催、子供たちの伝統文化体験、次に、18ページに移りまして、関西在住のクリエイターと企業が一堂に会する交流会や文化施設を巡るミュージアムぐるっとパスの発行など、多彩な関西文化の魅力発信に取り組んでまいります。

広域観光・文化振興分野につきましては、以上でございます。どうぞよろしく御願ひいたします。

○委員長（福山博史） 小倉広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部長。

○広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部長（小倉陽子） スポーツ部の事業について御説明いたします。

19ページをお願いいたします。

スポーツ部の令和8年度予算案は、2,101万1,000円を計上し、「関西広域スポーツ振興ビジョン」の推進、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現、「スポーツの聖地関西」の実

現、「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現の4つの柱の事業で取り組みます。主な事業を中心に御説明いたします。

20ページをお願いします。

スポーツ部では、関西における生涯スポーツの振興や地域活性化などを進めるため、関西広域スポーツ振興ビジョンを推進しています。現ビジョンが令和8年度に終了するため、2事業概要の(1)②のとおり、第3期ビジョンを策定します。

(2)「生涯スポーツ先進地域関西」の実現ですが、健常者のみならず障害のある方も参加可能なインクルーシブな大会である、ワールドマスターズゲームズ2027関西のエントリーがいよいよ開始されます。2021年大会時に申込みをされていた方などを対象としたアーリーエントリーは来週の1月14日から、そして一般エントリーは3月2日からとなっております。

21ページをお願いします。

ワールドマスターズゲームズの機運醸成のため、イ「関西マスターズゲームズ」の開催を12府縣市全てで予定しております。また、ウのとおり、各府縣市実行委員会とも連携し、PRの強化を図ってまいります。

22ページをお願いします。

⑧スポーツの人材の育成では、府縣市単位では強化育成が難しいパラスポーツのアスリート練習会や、著名な指導者によるスポーツ指導者講習会を開催します。(4)「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現の⑨広域観光・文化振興との連携では、関西に集積している観光資源や文化資源を融合し、周遊プログラムとして開発した「関西広域サイクリングルート」を基に、ワールドマスターズゲームズの競技会場もスポットとして回るスポーツイベントを実施するなど、ワールドマスターズゲームズの機運醸成とスポーツツーリズムを推進します。

その他の事業につきましては、お手元の資料のとおりでございます。

スポーツ部の説明は以上です。

○委員長(福山博史) 片伯部広域産業振興局長。

○広域産業振興局長(片伯部真由) 私からは、広域産業振興の広域産業パーツについて御説明いたします。

資料23ページを御覧ください。

令和8年度は大阪・関西万博のレガシーの継承という視点を踏まえながら、関西広域産業ビジョンに基づく取組を推進してまいります。歳出予算額は右下に記載のとおり、1億67万4,000円で、令和7年度当初より3,793万1,000円の増額となっております。主な増要因といたしましては、2点ございます。1つは、資料中段の⑤万博を契機としたビジネス交流の展開と最先端技術の実装化推進等によるイノベーションの創出の新規事業で、こちらにつきましては、大阪・関西万博のレガシーを受け継いだ関西の成長・発展に向けた経費に該当するものでございます。2つ目は、⑥関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォームの構築についてでございます。昨年10月の関西広域連合と経済界による広域リージョン連携宣言を経て、国の交付金等の活用を視野に支援機能やプロモーションの強化を図るものです。

続きまして、主な事業について御説明いたします。

24ページ中段(2)②関西スタートアップ・エコシステムの推進を御覧ください。優れた大学や研究機関・企業等が集積するという関西の強みを生かし、ディープテック・スタートアップへの支援に注力いたします。具体的には、京阪神のコンソーシアムや関係機関等と連携したイベントの開催、海外向け情報発信等により、国内外の投資家等の関西への呼び込みを図ります。

③ライフサイエンス分野では、10月に開催されるアジア最大級規模の展示会「BioJapan」への出展支援等により、関西の産業ポテンシャルを発信いたします。

また、グリーン分野では、25ページの④に記載のとおり、カーボンニュートラルに資する先進技術フォーラムを開催し、産学連携による製品開発や企業間連携によるビジネス機会の創出を促進し、域内企業を支援いたします。

次に、25ページの中段⑤の新規事業について御説明いたします。大阪・関西万博のレガシー事業として新たに取り組むもので、大きく2つの事業がございます。

1つは、ア域内スタートアップ等のViva Technology出展支援です。これは昨年5月に来日した、イル・ド・フランス州政府団と三日月連合長との会談を踏まえたものでございます。来年6月に、フランスのパリで開催される予定の世界トップクラスのテック系イベントViva Technology 2026において、関西広域連合のブースを出展し、域内の有望なスタートアップと海外投資家、企業とのマッチング機会を創出するとともに、世界に向けて関西の持つポテンシャルを発信いたします。

もう一つの新規事業は、イ万博で披露された最先端技術の実装化・産業化の推進です。万博で披露されました最先端技術等の実装化・産業化をオール関西で推進していくため、現在検討中の経済界、地元自治体、国等が連携した枠組みに関西広域連合として参画いたします。

続いて、下段の⑥は、令和4年11月から関西経済連合会と共に実施している関西広域産業共創プラットフォーム事業です。この間、域内の公設試や多様な機関、様々な技術分野に精通した専門家が有機的に連携して、企業の技術課題の解決や事業化支援を行い、成果を生み出してきました。来年度は国の交付金等の活用も視野に、イノベーションが生まれる環境創出に向けた取組を進化させてまいります。

26ページの⑦地域産業の魅力発信・マーケットの拡大支援を御覧ください。今年度、万博会場内で開催した関西の魅力発信事業など、来場者の反応等を踏まえまして、主に関西に訪れる旅行者を対象に域内の地場産業や伝統工芸品の展示、販売、ワークショップを複合させたイベントを開催いたします。また、万博を機に進展した海外企業と域内企業のビジネス交流を更に促進するため、昨年度策定いたしました域内企業のPRツールについて、来年度は海外企業等が多数参加する展示会や海外メディアに向けて発信してまいります。

⑧広報活動や情報紙等による発信では、企業活動の参考となる好事例等の情報を収集、発信するビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」において、万博に出展した中小企業のその後の取組なども取り上げ、発行いたします。

⑨の産業を支える多様な人材の活躍促進は新規となっておりますが、アのeラーニング教材の事業は昨年度からの継続事業となっております。こちらは、関西での創業者の増加に向け、市町村が実施する創業支援事業を補完するツールを広域連合が作成いたしまして、域内市町村に対してeラーニング教材として提供するもので、来年度はコンテンツの充実

を図ってまいります。加えて、企業にとって大きな経営課題である人手不足の解決に向け、生産性向上につながるデジタル化等の先進的な取組事例や、国・自治体等の支援策を紹介するセミナーを実施いたします。

来年度も構成府県市はもとより、国や経済界等をはじめとした関係機関との適切な役割分担の下、連携をいたしまして、関西経済の活性化に取り組んでまいります。

説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（福山博史） 川村広域産業振興局農林水産部次長。

○広域産業振興局農林水産部次長（川村 実） 続きまして、農林水産部から説明させていただきます。次長の川村です。よろしくお願いいたします。

資料の27ページを御覧ください。

令和8年度予算は今年度に比べ、801万8,000円減の1,495万7,000円を要求していきたいと考えてございます。なお、減額分につきましては、令和7年度実施の大阪・関西万博出展に係る予算であります。

続きまして、資料28ページを御覧ください。

地産地消運動の推進によります域内消費拡大を進めるため、①の「おいしい！ KANSAI応援企業」の登録推進や、②のイ、学校給食への域内特産農林水産物の提供に引き続き取り組んでまいります。

続きまして、資料29ページを御覧ください。

農林水産物の生産者や食品加工事業者を対象に、⑤の食品輸出セミナーや、⑥のWEB型マッチング商談会を引き続き実施し、国内外への販路拡大に取り組んでまいります。

続きまして、資料30ページを御覧ください。

下段の⑩の都市農村交流の情報発信では、農家民泊や観光農園などの交流施設を対象にしたデジタルスタンプラリーの実施を継続し、農山漁村地域への誘客促進を図ってまいります。

農林水産部からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（福山博史） 新田広域医療局次長。

○広域医療局次長（新田哲弘） 広域医療局次長の新田でございます。

資料の御説明に入ります前に、このたびドクターヘリにつきまして、運航業務を委託しております学校法人のヒラタ学園におきまして、整備士不足によりまして、10月から12月に引き続き、1月以降につきましても運航停止期間が生じる事態となりましたことを心よりおわびを申し上げます。現在、構成府県や基地病院、また国などで構成をいたします対策チームにおきまして対応を検討しておるところでございますが、今後とも関係機関との連携の下に、ドクターヘリの安全かつ安定した運航の確保に全力で取り組んでまいりますので、御理解と御指導を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。

それでは、事業の説明に移らせていただきます。着座にて失礼をいたします。

31ページを御覧ください。

広域医療分野におきましては、関西広域医療連携計画に基づきまして、ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実、また、災害時における広域医療体制の強化、課題解決に向けた広域医療体制の構築の3本柱によりまして、広域医療連携の取組を進めているところでございます。令和8年度当初予算案といたしましては、21億6,053万1,000円を計上させ

ていただいております。前年度当初比では3億8,126万8,000円の増となっております。この主な理由といたしましては、物価高騰等によります国庫補助基準額の改定に伴うドクターヘリ運航経費の増額等によるものでございます。

続きまして、32ページをお開きください。

中ほどの(2)ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実におきましては、引き続き安全な運航管理、整備体制等の確保に向け取組を進めますとともに、管内のドクターヘリを効果的に運用することで、広域救急医療体制の充実を図ってまいります。

次に、33ページを御覧ください。

中ほどの(3)災害時における広域医療体制の強化では、災害医療コーディネーターや災害派遣精神医療チームDPAT、また災害時健康危機管理支援チームDHEATなどの災害医療人材の養成を図ってまいります。

次に、34ページをお開きください。

(4)課題解決に向けた広域医療体制の構築におきましては、⑦新興・再興感染症への備えといたしまして、感染症対策におけます広域連携を推進してまいりますとともに、⑧各種課題への対応といたしまして、医療を取り巻く諸課題へ対応してまいりたいと考えております。

広域医療局からの御説明は以上です。どうかよろしくお願いをいたします。

○委員長(福山博史) 目片広域環境保全局長。

○広域環境保全局長(目片佳子) それでは続きまして、広域環境保全分野についてご説明いたします。

資料の35ページを御覧ください。

広域環境保全分野の令和8年度予算案につきましては、令和7年度予算から113万6,000円増額の5,094万8,000円となっております。全体としましては、令和8年度から5年間を計画期間といたします第5期の関西広域環境保全計画に基づき、脱炭素社会の実現を目指した地球温暖化対策の推進をはじめとする4つの分野の事務について、引き続き取組を進めてまいります。

具体的な事業の内容につきましては、令和7年度からの変更点を中心に御説明いたします。

36ページを御覧ください。

(2)脱炭素社会づくりの推進では、関西脱炭素アクションの取組の一環として、万博のレガシーを継承するため、企業との連携によるアプリを活用した住民の行動変容に向けた取組を新たに実施する予定でございます。また、来年度も脱炭素フォーラムを開催し、多様な主体との連携を図ってまいります。

37ページの(3)自然共生社会づくりの推進では、③生物多様性の保全及び活用の推進の(ウ)として、新たに広域外来生物対策業務に取り組むこととし、関西各地で被害を及ぼしている外来生物に対して、構成府県市間の連携を深める情報共有や効果的な防除手法等を学ぶための現地研修会を実施いたします。また、④広域連携による鳥獣被害対策の推進では、引き続きカワウやニホンジカへの対策を実施しますとともに、ツキノワグマなど、他の獣種につきましても担当者会議等で対策方針を検討してまいります。

(4)循環型社会づくりの推進では、プラスチックごみや食品ロス、ファッションロス

等を削減し、資源循環を促進するため、新たに「ごみを出さないライフスタイル」への転換を促進する啓発イベントを実施予定でございます。また、「マイボトルスポットMAP」に大阪府の「Osakaほかさんマップ」を統合しまして、マイボトルに加えてマイ容器の利用促進に向けて、マップの利便性向上や登録拡大に取り組んでまいります。

39ページの(5)持続可能な社会を担う人育ての推進では、引き続き交流型環境学習事業として、学習船「うみのこ」を活用した親子体験航海と京都府での自然体験教室を実施予定でございます。また、新規事業として、イの「環境^{かける}×若者ネットワーク形成促進事業」を実施する予定でございます。この事業は、関西各地の環境課題に対処できる人材を育成するため、学生団体と環境保全団体等を集めた交流シンポジウムを開催して、有機的なネットワークの形成を図るものでございます。

広域環境保全局からの説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（福山博史） 鎌田本部事務局資格試験・免許課長。

○本部事務局資格試験・免許課長（鎌田治男） 資格試験・免許事務について説明をさせていただきます。

資料の40ページを御覧ください。

資格試験・免許事務につきまして、総額は3億3,463万3,000円、前年度と比べまして1,259万8,000円、約3.9%の増となっております。

事業の概要につきましては、41ページ及び42ページに記載しておりますが、(1)資格試験・免許の広域実施といたしまして、令和7年度より新たに奈良県を含めた7府県で一体的に事務を実施しておりますが、令和8年度につきましても、①調理師・製菓衛生師、②准看護師資格の資格試験及び免許事務に加えまして、42ページの③登録販売者及び毒物劇物取扱者の資格試験を引き続き実施してまいります。

42ページの(2)管理費、こちらが増額となっておりますが、これは現在、各試験の受験料、あと免許申請の手数料について一部の試験で電子出願・電子収納を行っておりますが、その他のものは銀行窓口で納付をいただいているところです。これら全ての受験料、手数料につきまして、キャッシュレス決済やコンビニ収納を導入するとともに、全ての試験で電子出願を行っていただくためのシステム導入に係る経費を管理費に計上しているためでございます。なお、この資格試験・免許等に要する経費につきましては、全て受験料、手数料収入で賄っているところでございます。

資格試験・免許事務につきましては以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（福山博史） 栗田広域職員研修局長。

○広域職員研修局（栗田晃治） それでは、7広域職員研修について、概要を御説明いたします。

引き続き、資料43ページでございます。

予算総額は、令和8年度合計379万3,000円と今年度と同額でございます。

資料をおめぐりいただきまして、44ページでございます。

研修の中身でございますが、まず、(1)①広域職員研修局主催研修事業では、職員の政策形成能力の向上を図るため、グループ演習と集中講義研修を今年度同様予定してございます。

次に、②各構成団体が主催する主催研修への参加調整では、各構成団体が実施する研修に他団体職員を相互に受講させる取組です。この取組については広域連合からの支出はございません。

次、(2)研修の効率化の③WEBを活用した研修では、構成団体が主催する研修に、より多くの職員が参加できるよう、引き続き構成団体の御協力も得ながら取組を進めてまいります。

最後に④合同研修は、各構成団体主催研修のうち、合同実施することで事務の効率化が全体として図れると見込まれる研修につきまして、広域職員研修局が一括して実施する研修として、新たに取組を開始したいと考えております。

広域職員研修については以上です。よろしく申し上げます。

○委員長（福山博史） 沖本部事務局総務課長。

○本部事務局総務課長（沖有希子） 本部事務局総務課長、沖でございます。どうぞよろしく願いいたします。

資料は45ページをお願いします。

広域連合の企画管理について御説明させていただきます。これまでは7分野の事務局の取組の御説明でしたが、こちらは本部事務局の取組となっております。

初めに、1の広域課題に対応するための企画調整でございますが、こちらは(1)地方分権改革の推進、(2)広域企画戦略、(3)住民参画・官民連携の推進等の3つの柱で取り組んでまいります。総額は右下にございますように、4,443万3,000円でございます。令和7年度当初予算に比べまして9.9%の減少となっております。主な増減の要因といたしましては、大阪・関西万博での催事に関する予算の減、増加の要因といたしましては、大阪・関西万博を契機とした海外との連携強化に係る新規事業の計上となっております。続きまして、46ページを御覧ください。

事業概要につきましては、主なものを御説明させていただきます。

(1)地方分権改革の推進は、①国の事務・権限の移譲促進等でございます。事業内容といたしまして、国の事務権限の移譲促進を図るため提案活動を実施いたすとともに、第33次地方制度調査会答申に示されました、広域連合と国が協議により調整を行う枠組みの制度化に向けて国への働きかけを行ってまいります。また、今年度設置いたしました「新たな広域自治・行政のあり方研究会」におきまして、広域連合のあるべき姿や今後担うべき役割等について検討を進めてまいります。

続きまして、②政府機関等の移転の促進では、事業内容といたしまして、在関西の政府機関及び経済団体を含めた地方創生推進会議を開催し、関係団体との連携を強化し、政府機関等移転の認知度向上や情報発信に努めてまいります。

続きまして、47ページをお願いします。

(2)広域企画戦略についての御説明でございます。

⑤広域的な流域対策の検討では、琵琶湖・淀川流域に顕在化しております課題解決に向けまして、流域の課題と現状や評価について認識を共有いたし、これまでの検討で明らかになりました成果等の情報発信を行ってまいります。

続きまして、⑥広域的な様式・基準等の統一の推進では、検討会議や各部会を通じまして、ビジネスがより効率的に行えます広域的な環境づくりに向け、取組を進めてまいりた

いと存じます。

続きまして、48ページをお願いします。

⑧の産学官連携によるイノベーションの強化・推進では、事業内容といたしまして、産学官連携のプラットフォームでございます「関西健康・医療創生会議」による取組を引き続き推進してまいります。広域的課題の解決に向け検討するとともに、セミナー開催などを通じ、先進事例の普及啓発に努めてまいります。

49ページをお願いします。

⑩の広域計画等の推進では、後ほど御説明申し上げますが、新たに策定します広域計画及び関西創生戦略を着実に推進、また、現行の計画及び創生戦略の達成状況の評価・検証を行ってまいりたいと存じます。

続きまして、50ページをお願いします。

(3) 住民参画・官民連携の推進でございます。⑭をお願いします。関西女性活躍推進フォーラムでは、大阪・関西万博のレガシーを継承し、関西広域リージョンとして、女性活躍の推進に資する取組を経済界と共同で設置した「関西女性活躍推進フォーラム」において実施します。

続きまして、51ページをお願いします。

⑮の大阪・関西万博を契機とした海外との連携強化でございます。こちらは新規事業となっております。万博を契機に深化した海外との連携・交流を発展させるため、海外の広域自治体等との協力関係を具体化する取組として、連合長のイル・ド・フランス州訪問と、トップ会談及び覚書の締結等を実施いたしたいと存じます。

52ページをお願いします。

2の広域連合の管理運営についての御説明でございます。(1) 広域連合の効率的運営、(2) 広域連合の見える化の推進、(3) 広域連合議会の充実強化の3本柱で取り組んでまいります。総額は4億840万8,000円でございます。令和7年度当初予算に比べまして1.5%の増加となっております。主な増加要因といたしまして、地価等の上昇に伴います本部事務局の事務所の借り上げ料の増加、それから人事院勧告等を踏まえましたが人件費の増加によるものとなっております。53ページの④の連合事務局の運営、アの事務費、人件費の増がこちらに当たることとなります。

続きまして、54ページをお願いします。

⑤の情報発信といたしまして、ホームページ、X等により広報を行います。また、出前講座による広報につきましては、職員が住民の集会等に出向いて行う双方向の対話型広報となっております。

55ページをお願いします。

こちらは昨年度まではなかったページでございますが、54ページまでで、先ほど来御説明のございました事業を再び掲示させていただいているページとなっております。アフター万博の予算といたしまして、令和8年度重点配分をいたしております、大阪・関西万博の成果をレガシーとして継承するための取組についてまとめたページとなっております。大きく3つの項目となっております。

1つ目は、産業、環境の分野でございます。1万博で披露された最先端技術等の実装化を促進するための事業、予算額は2,443万9,000円。内容としては広域産業のV i v a T

e c h への出展支援、万博で披露された最先端技術の実装化・産業化の推進、広域環境保全の関西脱炭素アクションの実施でございます。

2つ目は、観光分野でございます。2-1の万博に向けて構築した体制等を活用した広域周遊観光を更に推進するための事業の予算は5,911万4,000円。内容は、官民連携による広域観光の推進等でございます。2-2万博レガシーを活かしたジオパークの魅力発信・周遊促進の予算額は110万円。内容としては、関西広域連合管内ジオパークを巡る周遊観光促進等でございます。

3つ目は、海外連携でございます。3万博を契機に進展した海外との連携を強化するための事業。予算額は1,507万1,000円。内容としては、大阪・関西万博を契機とした海外との連携強化となっております。レガシー継承のための予算の合計は、右上に記載をさせていただいております、9,972万4,000円でございます。

私からの説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（福山博史） 橋田プラスチック対策検討会企画参事。

○プラスチック対策検討会企画参事（橋田 学） プラスチック対策の検討会について御説明いたします。失礼しまして座って御説明させていただきます。

資料の47ページを御覧ください。

④プラスチック対策の推進についてです。令和8年度予算額としましては548万6,000円を計上しております。今年度とほぼ同額となっております。また、令和8年度からは新たに第6期広域計画が始まることから、これまでの取り組んでいた内容を継続して取り組むとともに、今までの成果を更に活用していくための新たな取組も行っていきたいと思っております。具体的には、アのプラスチック代替品の普及及びプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進につきましては、これまでに作成しましたプラスチック代替品に関する情報集に具体的な製品事例等を追加するとともに、プラスチックごみ散乱推計モデルにつきましては、更に活用していただけるようにWEBで検索できる新たなシステムを構築いたします。また、イのプラスチック対策プラットフォームの運営につきましては、様々なテーマを設定して多様な主体へ周知を行いまして、より多くの市町村や事業者などの皆さんが参加して、それぞれの対策が促進できるように取り組みたいと思っております。

説明については以上となります。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（福山博史） 田淵エネルギー検討会企画参事。

○エネルギー検討会企画参事（田淵敬一） エネルギー政策の推進について、御説明いたします。

資料の48ページを御覧ください。

予算額につきましては196万9,000円、今年度と同額の予算を計上しております。アの関西圏の水素サプライチェーン構想の具現化につきましては、関係者間の情報交換・意見交換を促進するため、産学官によるプラットフォームの開催を引き続き行います。また、水素等の認知、利活用の拡大を図るため、関西における水素社会実現へ向けた取組について情報発信を行います。イにつきましては、エネルギーに関する構成府県市間での情報共有などについて取り組むものでございます。

エネルギー政策の推進の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（福山博史） 田中特区担当課長。

○特区担当課長（田中太郎） 特区担当課長、田中でございます。

資料48ページを御覧ください。

⑨特区の推進でございます。関西イノベーション国際戦略総合特区に関しまして、地域協議会、幹事会や事務局スタッフ会議の開催及び事業実績の確認や国への要望などに関する取りまとめを地域協議会事務局において行い、本特区の推進に努めているところでございます。本特区は、平成23年12月に京都府、大阪府、兵庫県にまたがる9つの地区が国の指定を受けて以降、これまでに51プロジェクト、104案件の事業が認定されております。医薬品、医療機器などのライフ分野、バッテリー、スマートコミュニティなどのグリーン分野を重点分野といたしまして、これらの事業展開を図ろうとする企業のサポートをしているところでございます。令和8年度におきましても、引き続き同事務局の運営を通じまして、本特区の円滑な推進に努めてまいります。

以上でございます。

○委員長（福山博史） 川上広域行財政改革推進担当企画参事。

○広域行財政改革推進担当企画参事（川上孝範） 資料の49ページの下段をお願いいたします。

⑩広域連携による行財政改革の推進では、構成府県市の限られた行財政資源を最大限活用して住民サービスの向上が図れるよう、事務の合理化や事業のスクラップ・アンド・ビルド、また、新たな事務といたしまして、土木技術職員及び建築技術職員に係る人材の確保など、広域連携による行財政改革の推進に取り組むこととしております。令和8年度の予算案につきましては、令和7年度と同額の233万円を計上しておりまして、新たな事務に関する具体の取組内容等について会議を開催いたしまして方向性の検討を行うほか、その必要性や課題等について、調査・検討を行うものでございます。

説明は以上です。よろしくをお願いいたします。

○委員長（福山博史） それでは、質疑に移ります。御発言があれば挙手願います。その際には、お名前をおっしゃっていただきますようお願いいたします。

中尾委員。

○委員（中尾友紀） 和歌山県の中尾でございます。どうかよろしくをお願いいたします。

ドクターヘリに関しまして、連合長をはじめ皆様の各省庁への要望活動によりまして、3億8,000万円増額となったことに対しまして敬意を表したいと思っております。

それで、説明の中で、対策チームをつくって検討しますということなんですけれど、その中身をもう少し具体的に教えていただきたいと思っております。

○委員長（福山博史） 新田広域医療局次長。

○広域医療局次長（新田哲弘） 夏から1週間程度の運航停止に引き続きまして、来年度につきましても今現在目途が立っていない状況でございます。そこで、我々関西広域連合だけではなかなか解決にたどり着かないので、国土交通省さんとか、厚生労働省さんとかに入ってくださいまして、その上で日本医療学会さんから専門的な見地から今御指導をいただいているところでございまして、まずはどのような形で新しい運航会社さんを見つけられるかから始まりまして、少し協議が進んでいる会社もございまして、その状況をどこの県に配置をしていくかとかの協議を行っているところでございます。

以上です。

○委員長（福山博史） 中尾委員。

○委員（中尾友紀） ありがとうございます。

一回その対策チームをつくって対応を検討していますという、そういう答弁というか説明ばかりだったんですけれども、その対策チームで、これをやることによって一步前進したという、そういう部分はないんですかね。

○委員長（福山博史） 新田広域医療局次長。

○広域医療局次長（新田哲弘） まず今年度で言いますと、奈良県さんのへりにつきまして、令和7年の12月24日から令和8年の1月21日までにかけて、東邦航空さんが支援をいただくという話が決まったとか、そういった成果はございます。以上です。

○委員長（福山博史） 中尾委員。

○委員（中尾友紀） ありがとうございます。

対策チームね、結成をやっていただきまして検討をやっていただいているので、せっかくだからそういうお話も中に入れていただいて、一步でも二歩でも前に進んでいるということを知らしめてほしいですね。11月にも提案させていただきましたけれども、国交省で元自衛隊の方を活用して、こういう整備士の人材育成をするという、そういう部分での話というのはどうなんですかね。やっているんですか、やっていないんですかね。

○委員長（福山博史） 新田広域医療局次長。

○広域医療局次長（新田哲弘） 退職自衛官の方の活用というのは、これからの人材確保に向けまして大変重要なことだと認識をしております。現在も国に対して、そういう政策提言をしておるところでございます。また、この分野につきましても国土交通省の航空局さんが主になって、今取組を進めていただいております。その情報が入り次第、また対策チームでも横展開を図ってまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（福山博史） 中尾委員。

○委員（中尾友紀） よろしく申し上げます。

○委員長（福山博史） ほかに質疑はございませんか。

○委員長（福山博史） それでは、御発言も尽きたようでありますので、本件についてはこれで終わります。

次に、「第6期広域計画（案）及び第3期関西創生戦略（案）」について、理事者から説明願います。

東山本部事務局計画課長。

○本部事務局計画課長（東山俊也） 計画課長の東山です。よろしく申し上げます。

それでは説明いたします。まずは、広域計画（案）でございます。

昨年10月に開催された総務常任委員会におきましては、この計画の中間案を説明させていただきました。その後、有識者で構成する「広域計画等推進委員会」や「新たな広域自治・行政のあり方研究会」での御意見、またパブリックコメントの御意見等を踏まえ、今回の広域計画（案）を作成しております。私からは、前回の総務常任委員会からの主な変更点を中心に説明をさせていただきます。

資料は、2-1と2-2、2-1が概要版、2-2が本編でございます。

資料2-2の本編の10ページから11ページをお開き願います。

目指すべき関西の将来像ということで3つ掲げております。1つ目が、「我が国の「も

う一つの極」として、新次元の分権型社会を先導する関西」、2つ目が、「誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西」、3つ目が、「個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西」。前回の総務常任委員会からの変更点としましては、1つ目の将来像について、昨年10月の新たな広域自治・行政のあり方研究会第1回会議での意見を踏まえまして、これまでの「国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西」を「我が国の「もう一つの極」として、新次元の分権型社会を先導する関西」に変更し、関西ならではの個性や強みを生かし、首都圏とは異なる「もう一つの極」を目指すこととしております。

次に、12ページから13ページをお開き願います。第6期広域計画では、新たに将来像実現のための5つの力として自治力、防災力、文化力、環境力、産業力を掲げております。また5つの力それぞれについて、期間中重点的に取り組む主要テーマを挙げております。前回からの変更点としましては、「広域計画等推進委員会」において、教育や人材育成確保の重要性について多数御意見をいただいたことを踏まえまして、主要テーマとして次のとおり内容を追加しております。防災力ですと、一番下になります「災害時において地域で活躍する人材や医療人材等の育成」、文化力は下から2つ目「関西文化の次世代への継承」、環境力は4つ目「持続可能な社会を担う環境人材の育成」、産業力は一番下「農林水産業を担う人材の育成確保」を、それぞれ追加いたしました。

次に、14ページから17ページまでが、分野別ビジョンでございます。6つのビジョンを掲げております。前回からの変更点としましては、パブリックコメントでの御意見を踏まえ、15ページの観光文化のビジョンに「万博を契機に関西一円の広域観光につなげた取組の様々な成果を万博のレガシーとして活用すること」を追記しております。

次に、18ページから32ページですが、第6期広域計画の取組方針になっております。7つの広域事務、12の政策の企画調整に関する事務、それから分権型社会の実現に向けた取組のそれぞれについて、取組方針をお示ししております。パブリックコメントでの御意見を踏まえて、観光分野では「関西観光本部との連携強化」、産業振興分野では「万博で披露された最先端技術の実装化・産業化」などについて、記載の充実や追記を図っております。

第6期広域計画（案）についての内容の説明は以上でございます。

また、資料2-3については、パブリックコメントの結果概要になっております。10月29日から11月30日までの1か月間実施し、8の個人及び団体の皆様から延べ42件の御意見、御提案を頂戴しました。

なお、今後のスケジュールについてでございますけれども、本日御意見をいただいた後、今月22日の連合委員会で計画（案）を協議の上、確定しまして、2月28日の2月定例会へ議案として提出させていただく予定にしております。

続きまして、第3期関西創生戦略（案）について説明いたします。

これまで広域計画と併せて広域計画等推進委員会で御意見をいただきながら策定作業を進めてまいりました。資料は2-4と2-5。2-4が概要版です。2-5が本編でございます。

2-4の概要版により説明をさせていただきます。

まず、左上の策定の趣旨でございますけれども、「2025年大阪・関西万博」のレガシー

の継承、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」を活用した関西の魅力発信などを踏まえて、第6期広域計画と一体的に策定し、関西圏域の地方創生の更なる深化を図ることとしております。

戦略の内容につきましては、第1部が「人口ビジョン」、第2部「総合戦略」の2部構成としており、第1部の人口ビジョンでは、2070年までの人口の将来推計や関西圏域の転入超過数の現状分析などを行っております。また、第2部の総合戦略につきましては、「基本的な考え方」、「基本目標」、「基本的方向」、「戦略の推進」で構成しており、このうち基本的な考え方、それから基本的方向については、第6期広域計画と同様に設定しております。基本目標については、こちらにございます「①毎年、東京圏から転入増と東京圏への転出減を目指す」、「②毎年度、国の経済成長率を超える成長を目指す」こととしております。資料の右側は、7つの基本的方向ごと、それぞれの施策を示しており、概要版には記載はありませんが、その下の更に具体的な取組と取組ごとのKPI、重要業績評価指標を設定しております。

私からの説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（福山博史） それでは質疑に移ります。御発言がある方は挙手願います。

小鍛冶委員。

○委員（小鍛冶義広） よろしくお願ひします。

今の御説明で関西創生戦略の概要版というところで、関西圏域の活力を取り戻すため、「2025年大阪・関西万博」のレガシーを継承していくということがうたわれております。先ほどのところでの御説明でも、新しく新規の事業として海外との連携を強化するというようなものが書かれていましたが、具体的にはフランス共和国のイル・ド・フランス州との連携なども今後もまた出てくるというところなんです、その新しい取組について御説明いただけますでしょうか。

○委員長（福山博史） 松浦次長。

○本部事務局次長（松浦幸浩） 御質問のありました今後の海外との交流展開につきまして、お答えいたします。

事業説明の際にも少し触れさせていただきましたが、フランス共和国のイル・ド・フランス州とは従来から観光分野で協定を結んでおりました。このたび、万博を機に先方の広域行政体のトップである議長さんがお見えになりましたので、観光分野を所管しておられます西脇副広域連合長と共に連合長も面会して、今後の新たな展開につきまして協議の場を持ったところでございます。その際、観光だけではなく、今後は環境ですとか様々な産業振興ですとか、特にスタートアップの振興ですとか、そういった分野についても連携を深めていこうというお話合いがありましたので、来年度事業におきましては、ぜひその新たな連携分野を広げるための覚書を締結するために連合長に訪仏いただいて、覚書を結ぼうという計画を現在進めているところでございます。

それ以外ですと、もう一個事業がございました。韓国の忠清広域連合との連携というのも、額は少ないですが計上してございます。これは、今は新年になりましたので、一昨年の12月に韓国でも初めて広域連合ができたということがございまして、昨年、先方の広域連合の課長級の方々が関西広域連合にお見えになりまして、日本で15年の実績のある関西広域連合と今後いろいろ情報交換なり連携をしたいというお申出がありましたので、来年

度先方からお越しになりたいというようなお話もございますので、その準備も併せて進めているところでございます。以上です。

○委員長（福山博史） 小鍛冶委員。

○委員（小鍛冶義広） ありがとうございます。

万博を契機に新しくフランスと韓国で、広域におけるこういった取組が進むということは非常に喜ばしいことだと思います。

また昨年、トップミーティング的なことを関西広域連合で、ほかのアジア圏でしたかね、国にも行かれていたかと思うのですが、今後、そういったことで何か新しい、これ以外の動きというのはあるのかどうか、教えていただけますでしょうか。

○委員長（福山博史） 野口広域観光・文化・スポーツ振興局長。

○広域観光・文化・スポーツ振興局長（野口礼子） 観光に絞って申しますと、トッププロモーションというものをやっております。令和7年度につきましては、場所といたしましては台湾だったんですけども、これはワールドマスターズゲームズの開会式がございましたので、そちらのミッションがあったところに併せて観光も一緒にやりましょうということで、少しやった部分はございます。昨年、令和7年度に関しましては、海外のどこかに行くということではなくて、日本にいらっしゃる、様々な国の大使の方々がいらっしゃいますので、その方を万博期間中に関西にお招きいたしまして、いろいろなどころを見ていただいたりというようなことをやりました。一昨年につきましてはシンガポール、その前の年はタイといったところで、観光を中心としたトッププロモーションを実施したところです。そのときにも、観光のトッププロモーションではあるんですけども、それぞれの機関の、例えばタイでしたら政府観光庁にもお伺いをして、持続可能な観光というのはそれぞれにとって大きなテーマというところもございますので、それでその翌年度に包括連携協定を結んだりしました。その継続といたしまして、今年度9月ぐらいにお互いの勉強会というようなことを実施するなどして、アジアにつきましては意見交換、プロモーションを契機とした、いろいろな継続的なつながりというところでは行っているところでございます。

○委員長（福山博史） 小鍛冶委員。

○委員（小鍛冶義広） ありがとうございます。

いずれの国も、観光に関してはどこもオーバーツーリズムというのは非常に大きな問題になっているかと思うのですが、世界の国々とそういった知見を深めていただいて、また取組に生かしていただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。以上で終わります。

○委員長（福山博史） ほかに質疑はございませんか。

それでは、御発言も尽きたようでありますので、本件についてはこれで終わります。

次に、報告事項に入ります。

「第184回関西広域連合委員会」の概要について、理事者から説明願います。

西島本部事務局次長。

○本部事務局次長（西島由美） 本部事務局次長、西島でございます。本年もよろしく願いいたします。

私からは、12月20日にWEB会議方式で開催いたしました、第184回関西広域連合委員

会の概要について、報告させていただきます。資料は、お手元の資料3を御覧ください。

まず、「関西パビリオン アフター万博の取組等について」でございます。関西パビリオンの解体・撤去の状況や、構成府県市や連携団体等の万博を契機といたしました海外交流事例、閉幕後の関西パビリオンの公式スタンプラリー、具体的にはパビリオン管内に設置しておりました9府県分のスタンプのレプリカをセットといたしまして、構成団体の公共施設等で順次展開しているものですが、このような状況につきまして協議、報告いたしました。

次に、2の協議事項は3件ございます。

まず、令和8年度当初予算（案）につきましては、先ほど御説明させていただきました2月議会に提案予定の予算案について、協議いたしました。

続きまして、（2）の第6期広域計画（案）、それから（3）の第3期関西創生戦略（案）についても、いずれも先ほど御説明させていただきました（案）について協議を行いました。

次に、3の報告事項は5件ございます。

まず、1つ目の関西広域連合圏域における高病原性鳥インフルエンザの発生についてでございます。広域連合圏域におきましては、12月2日の鳥取県米子市及び12月16日の兵庫県姫路市の養鶏場で発生したこと、関西広域連合では、令和2年度から広域防災局長を本部長とする警戒本部を設置しており、まん延防止のため防疫措置状況等について情報収集し、構成団体及び連携県の間で情報共有を行っていくことについて報告いたしました。

次に、関西広域連合管内のドクターヘリの運航についてでございます。運航委託先でありますヒラタ学園から、1月以降も整備士が不足する見通しであるため、1月から3月まで各機、毎月4日から6日程度運航を停止したい旨申出があったこと、奈良県ヘリについては12月24日から令和8年1月21日まで、東邦航空株式会社による代替運航を実施すること、令和8年度の運航体制といたしまして、公募型プロポーザルを実施した結果、京滋ヘリにつきましては、中日本航空株式会社を受託予定者に決定したこと、そのほか、構成府県、基地病院、国等が参加する対策チームの活動や、国への要望活動等について報告いたしました。

次に、3つ目のワールドマスタースゲームズ2027関西の大会概要についてでございます。日本で初めて、来年5月14日から同月30日の17日間にわたりまして、35競技、59種目を関西一円で広域開催するものでございます。1月14日からアーリーエントリー、3月からは一般エントリーの受付を開始することや、開会式を京都市、閉会式を大阪市内で開催すること等について報告いたしました。

次に、4つ目の令和7年度若者参画による環境学習プログラム推進事業についてでございます。構成府県市内の7名の大学生である学生サポーターの企画により、身近な「米」をメインテーマに、中学生から25歳までを対象とし、「いただきます」は里山から一里山で学ぶ自然のこころ」と題したイベントを、1月18日曜日に奈良県生駒市で実施することについて報告いたしました。

最後に、令和7年度地方分権改革に関する提案募集に係る国の対応方針（案）についてでございます。昨年11月開催の内閣府地方分権改革有識者会議・提案募集検討専門部会合同会議におきまして、提案事項に係る対応方針（案）が示され、広域連合提案の1件、広

域連合制度における国の事務の移譲要請権の拡充については、要請が行われた上での具体的な支障が生じた場合に相談されたいとして実現できなかったものとされたこと、構成団体との共同提案9件のうち、外部監査人等に係る告示事項の見直し、具体的には、包括外部監査人及び個別外部監査人並びに補助者の住所の告示を廃止することなど8件につきまして、提案の趣旨を踏まえ対応するものとされたこと等について報告をいたしました。

次に、当日の資料配布については、資料3の裏面の4に記載の資料を配付いたしました。

私からの説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（福山博史） ただいまの説明について、御発言がある方は挙手願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福山博史） それでは、御発言もないようでありますので、本件についてはこれで終わります。

以上で、本日の議題は終了いたしました。この際、ほかに御発言等ございますでしょうか。

三日月広域連合長。

○広域連合長（三日月大造） どうも委員長、副委員長をはじめ、先生方ありがとうございました。もう少したくさん突っ込まれて、かんかんがくがくの議論になるかなと思っていたのですが、これまでいただいている御意見・御提言も含めて、しっかりと咀嚼いたしまして、来る議会に成案としてお諮りできるように準備してまいりたいと存じます。

万博がありまして、まだロスに、いろいろとさいなまれるようなこともあるんですが、せつかく万博を開催させていただいて、多くの方に来ていただいて、注目もいただいたわけですから、この成果を、レガシーをしっかりと生かしていくということに取り組んでいきたいと思っております。その主たる事業、新規のことも含めて、額としては小さいのかもしれませんが、世界とつながる、新たな産業をつくる、さらには観光の面でありますとか、私自身はジェンダー平等ということについても、もう少し世界とつながる形で改善をしていくその率先を関西が担っていくという、こういう役割を果たしていければいいなと思っているところであります。

また、御心配いただいているドクターヘリの問題は、私ども理事者としても毎回情報を共有して議論をしているテーマであります。大切な命を守る、そういうものでありますし、例えば山間、そして海、離島ですね。さらには雪のあるとき、また島、こういったところでは、やはりドクターヘリは欠かせませんし、私がお預かりしている滋賀県は真ん中に大きな湖がありまして、対岸までやはりこのヘリで搬送するというこの有効性ですね、しかも山を越えて、府県を越えて搬送するということの重要性、しかし運航会社の様々な課題で契約どおり運航ができないという、こういう問題にどのように対応していくのかと。まずはカバー体制をしっかりとやろうと思っております。防災ヘリを活用したり、消防のヘリも動かしてもらったり、さらにはドクターカー、救急車、こういったものも動かしていこう、場合によっては自衛隊のヘリの活用、こういったことも重要であろう。私どもの滋賀県では、今福井県ともやっているんですけども、岐阜や三重ともつながって、京滋ドクターヘリの負担を少し軽くして、こういうエリア体制をもう一回見直すということも必要ではないかと考えているところであります。会社に対しては、予備機を出してくれないか

ということの要請でありますとか、整備士も操縦する人も機体によって全部分かれている
そうありますので、少しそういうものも見える化して、協議できるようなこともこれか
らしていかなければいけないのではないかなと思っております。

ただ、ワールドマスターズゲームズもありますし、ノーベル賞を受賞された方はお二人
でしたけれども、いずれも関西ゆかりの方であります。やっぱり関西がいろんな意味で日
本を代表する、また日本をけん引していける、そういう場所じゃないかなと思っておいま
す。こういう広域連合も関西の次、どこかにできたらいいなと言っていましたけれども、
どこもできていません。東京も、小池知事はじめ、近隣府県いろんなつながりあるんです
けれど、こういう議会との対話、首長同士の連携、こういうものがなくて、こんなんがあ
ったらいいなということをよく言われます。やっている職員も議員の皆さんも、知事、市
長も大変なことはあるんですけれども、この強み、このつながりをしっかりと生かして、
天の時、地の利、人の和を生かした関西づくり、ぜひこれからも進めていきたいと思いま
すので、よろしく御指導賜りますようお願い申し上げます、何より総理大臣も関西、そして連
携する共同代表は大阪府の知事をされていて、いろんなことが国政にも届きやすい、そう
いう環境にもありますので、そういったことごとく生かしてまいりたいと存じます。

どうぞ今年も皆さん一緒に頑張りましょう。よろしく願いいたします。ありがとうござ
いりました。

○委員長（福山博史） ありがとうございます。ほかに御発言等ございますでしょ
うか。

渡辺議長。

○委員（渡辺邦子） すみません。今、連合長から本当に熱い思いを聞かせていただき
まして、私からも皆様に一言お礼を申し上げたくて手を挙げさせていただきました。

改めて「大阪・関西万博」では、関西パビリオンとして本当に関西広域連合の皆様方の
総力を挙げていただいて、本当に関西というものを世界に発信していただき、多くの方々
にお越しいただきました。本当にありがとうございます。また、12月20日には全員協議
会といたしまして、議員研修で森館長にお話も伺いまして、そしてまた議員の皆様からも
積極的にいろいろとそのときの感想や質問も併せて、さらに「ワールドマスターズゲーム
ズ2027関西」を、みんなでこのレガシーを大切に、この力を大切に盛り上げてい
こうということで、議員の皆様方からもそのようなお声をいただきましたところでござい
ます。大変せんえつではございますが、一言お礼を申し上げたくて手を挙げさせていた
だきました。皆様、本当にありがとうございます。また引き続き、どうぞよろしくお願い
申し上げます。

○委員長（福山博史） ありがとうございます。ほかに御発言等はございますでしょ
うか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福山博史） それでは、御発言もないようでありますので、本件については
これで終わります。

これをもって、総務常任委員会を閉会いたします。ありがとうございます。

午後2時53分閉会

関西広域連合議会委員会条例（平成23年関西広
域連合条例第14号）第28条第1項の規定により、
ここに署名する。

令和8年3月24日

総務常任委員会委員長 福山 博史